北海道医師会館９階理事会室

第１回常任理事会

日　時　令和８年４月７日（火）18：00～19：15
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・髙橋・寺本・白崎・村上・末岡各常任理事、梶・阿久津・松岡各監事
（Web参加者）菅田常任理事
（事務局：三瓶事務局長ほか13名）

協議事項

第１号　北海道医師会職員貸付金の利率及び職員貸付金規程の一部改正に関する件（目黒常任理事）
2.2％に改定することと決定。

第２号　個人情報保護管理体制・特定個人情報等保護管理体制の一部改正に関する件（目黒常任理事）
４月の人事異動に伴い、個人情報保護管理体制ならびに特定個人情報等保護管理体制を一部改正することと決定。

第３号　日本医師会生涯教育講座の認定に関する件（髙橋常任理事）
申請のあった日医生涯教育講座３件を承認することと決定。

第４号　第１回理事会［４月18日（土）・Web併用］の議案に関する件（目黒常任理事）
午後４時30分から当会館においてWeb併用で開催することと提出議案を決定。

第５号　事務連絡協議会［５月22日（金）・Web併用］の開催に関する件（目黒常任理事）
午後１時30分から当会館においてWeb併用で開催することと決定。

第６号　第１回郡市医師会長協議会［５月30日（土）・Web併用］の開催に関する件（目黒常任理事）
午後４時から当会館においてWeb併用で開催することと決定。

第７号　その他
⑴　４月行事予定に関する件（事務局）
⑵　令和８年度主行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．労災三者懇談会［３月16日（月）］について（伊藤常任理事）
令和７年度は北海道労災保険指定病院協会が当番幹事となり開催した。北海道労災保険指定病院協会および北海道労働局より、高齢労働者の増加により労働災害リスクが増加していることや、労災補償では精神障害など複雑な事例も増えていること等の報告があった後、当会からは、日医の労災・自賠責委員会の報告に基づき、近年の労働災害の問題点として、高齢労働者と外国人労働者の増加への対応の基準を整備することが最重要課題である旨報告し、協議を行った。

２．第31回日本災害医学会総会・学術集会［３月19日（木）～21日（土）・新潟県］について（白崎常任理事）
新潟大学大学院医歯学総合研究科災害医学・医療人材育成分野・高橋昌特任教授が会長となり、「災害を科学する」をメインテーマに開催された。超高齢社会における災害対策、避難所生活の課題、原子力災害に関するパネルディスカッション等が行われ、参加人数は約3,100名であった。次回は来年３月18日（木）～20日（土）に札幌市において、国立病院機構本部DMAT事務局・近藤久禎次長が会長、松家会長が副大会長となり開催予定。

３．第３回医療・介護連携勉強会［３月21日（土）・Web開催］について（藤原副会長）
社会医療法人高橋病院（函館市）・髙橋肇理事長から「全国医療情報プラットフォームと地域連携ネットワークの望ましいあり方～医療・介護連携の現状から～」、医療法人渓仁会・成田吉明理事長から「『きた・りんく』（旧称さっぽろID-Link連絡会）の今後の展望」についてそれぞれ情報提供があった後、質疑応答、意見交換を行った。参加者は医師、歯科医師、看護師、薬局薬剤師、医療ソーシャルワーカーなど46名であった。次回は令和８年度に開催予定。

４．医療安全研修会［３月28日（土）］について（長谷部常任理事）
SOMPOリスクマネジメント㈱医療・介護コンサルティング部・山崎堅司氏を招聘し、「診療録・看護記録の重要性－裁判事例からの学び－」と題し、カルテ記載に係る重要事項、同意書を用いて説明する際のポイントなどについて講演があった。その後、オホーツク総合振興局保健環境部北見地域保健室・山田倫代係長より死因究明等推進基本法について行政説明があった。参加者は26名であった。

５．第161回日本医師会臨時代議員会［３月29日（日）］について（鈴木副会長）
第32回日本医学会総会2027・澤芳樹会頭（大阪府医師会副会長）から開催案内があった後、松本会長の挨拶が行われた。続いて、角田副会長から令和８

年度事業計画および予算の報告があり、代表質問が行われ、北海道は、大原正範代議員から「医療専門学校の現状打破について」、野中雅代議員から「精神科オンライン診療における安全確保および運用の適正化について」の２題を提出した。

６．令和８年度研修医オリエンテーションについて（長谷部常任理事ほか）

さらなる医師会組織強化に向けて、三医育大学が実施する研修医オリエンテーションに参画し、医師会組織の説明および加入勧奨を行い37名の研修医が参加した。

７．第20回男女共同参画フォーラム［４月４日（土）・沖縄県］について（寺本常任理事）

「世代・ジェンダーをこえてちむどんどん」をメインテーマに、主催者である日医・松本会長の挨拶の後、「DEIB（Diversity, Equity, Inclusion, Belonging）推進とこれからの大学」等の基調講演２題と日医男女共同参画委員会および日医ドクターサポートセンター事業の報告があった。シンポジウムでは、「これからの自分の働き方～世代別の価値観と課題～」および「男性育休の実際と課題」をテーマに、計７名のシンポジストより発表があり、総合討論において活発な意見交換が行われた。参加者は203名であった。次回は、来年４月10日（土）に千葉県千葉市にて開催予定。

８．北海道・東北・東京・関東甲信越ブロック医師会長意見交換会［４月４日（土）・東京都］について（松家会長）

毎年開催している17都道県医師会長による意見交換会を、当会が当番幹事となって開催し、「令和８年度診療報酬改定の評価」をテーマに意見交換を行った。

９．外部各委員会報告

⑴　北海道DMAT等検討ワーキンググループ［３月25日（水）・Web開催］について（白崎常任理事）

令和７年度北海道災害医療従事者研修およびDMAT実働訓練の実施結果について報告があった後、令和８年度北海道DMAT実働訓練（素案）と災害時における北海道のドクターヘリ運用体制に係る要領の見直しについて協議を行った。

⑵　北海道公衆衛生協会第３回常任理事会［３月25日（水）・Web開催］について（藤原副会長）

令和８年度年間スケジュールおよび北海道公衆衛生学雑誌の編集状況について説明後、経営健全化専門部会の開催結果、第78回北海道公衆衛生学会の開催概要、令和７年度の学会員数ならびに収支状況について報告があった。

⑶　第29回北海道医療対策協議会［３月26日（木）・Web併用］について（佐古副会長）

奥尻町・新村卓実町長から医師派遣（紹介）連絡調整分科会の議事内容として、医育大学地域医療支援センターからの医師派遣や自治医科大学卒業医師の配置の令和７年度実績と令和８年度の調整状況等の説明があった。その後、松家会長から地域医療を担う医師養成検討分科会、小職から専門医制度等検討分科会について、それぞれ令和７年度の検討・協議内容を報告し意見交換を行った。

⑷　北海道小児在宅医療推進協議会［３月26日（木）］について（末岡常任理事）

座長に小職が選出された後、小児科を標榜する病院に係る小児科医師数等調査結果等について報告があったほか、令和７年度の小児等在宅医療連携拠点事業の全道単位、地域単位それぞれの取組実施状況について協議した。

⑸　第４回北海道CDR多機関検証WG及び第２回北海道CDR推進会議［３月27日（金）・Web併用］について（末岡常任理事）

第４回北海道CDR多機関検証WGが行われた後に、第２回北海道CDR推進会議が開催され、令和７年度北海道CDRモデル事業報告書（案）について、天使病院小児科科長・佐々木理委員より説明があり、各委員がそれぞれの立場から現状と課題について報告後、協議を行い、一部修正の上承認された。

道総医協関連事項（藤原副会長）

１．第２回地域保健専門委員会難病対策小委員会（北海道難病対策協議会）［３月26日（木）・Web］について（菅田常任理事）

難病医療施策の動向として、指定難病等医療費助成制度に係る国の方針や各圏域における難病対策地域協議会の開催状況について報告が行われ、続いて遠隔医療の推進および道単独事業の見直しについて協議した。また、独立行政法人国立病院機構北海道医療センターが実施する北海道難病医療提供体制整備事業および北海道移行期医療支援体制整備事業などの実施状況について情報共有が行われた。

２．運営委員会ならびに第70回総会・各専門委員会（第１回）の開催日程について（藤原副会長）

運営委員会を５月11日（月）、第70回総会ならびに各専門委員会を６月９日（火）に開催予定である旨報告した。

第１回理事会

日　時　令和８年４月18日（土）16：30～17：57
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・橋本・水谷・伊藤・青木・荒木・長谷部・菅田・髙橋・寺本・白崎・村上各常任理事、坂本・西條両理事、梶・

阿久津両監事、中川顧問、滝山副議長
（Web参加者）山科常任理事、今・小西（宏）・大本・小西（勝）・中條・吉田・柴田各理事、深澤参与、大原議長
（事務局：三瓶事務局長ほか13名）

1．開　　会

2．会長挨拶

3．報告事項

⑴　日医医療情報システム協議会［3月7日（土）～8日（日）］について（橋本常任理事）

「医療DX新時代～現状の課題と未来の展望～」をメインテーマに、日本医師会館大講堂と日本医師会Web研修システムを使用したハイブリッド形式で開催された。1日目は「サイバー攻撃・ネット上の悪質な書込み対策最新情報」「医療DX－厚生労働省からの現状報告と日本医師会の考え」、2日目は「地域医療情報連携ネットワークの現状の課題と未来の展望」「オンライン診療と遠隔医療－現状の課題と未来の展望」と題して講演やパネルディスカッションが行われた。参加者は944名（会場320名、Web624名）であった。

⑵　第161回日本医師会臨時代議員会［3月29日（日）］について（鈴木副会長）

第32回日本医学会総会2027・澤芳樹会頭（大阪府医師会副会長）から開催案内があった後、松本会長の挨拶が行われた。続いて、角田副会長から令和8年度事業計画および予算の報告があり、代表質問が行われ、北海道は、大原正範代議員から「医療専門学校の現状打破について」、野中雅代議員から「精神科オンライン診療における安全確保および運用の適正化について」の2題を提出した。

⑶　日医理事会報告（松家会長）

2月の理事会では、令和8年度日本医師会事業計画および予算等について協議後、中医協や第210回社会保障審議会医療保険部会、第64回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会等の報告があった。3月の理事会では、令和7年度「医師偏在是正に向けた広域マッチング事業」事業報告提出等について協議後、かかりつけ医機能報告制度説明会、第93回日本医学会定例評議員会、医療政策会議第2回報告、中医協、第28回健康・医療・介護情報利活用検討会医療等情報利活用ワーキンググループ等の報告があった。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

⑷　日医各委員会報告

1）財務委員会［1月23日（金）・Web併用］について（佐古副会長）

令和8年度日本医師会事業計画（案）等に基づき、質疑応答があった重点課題を中心に報告があった。

2）病院委員会［1月30日（金）・Web併用］について（佐古副会長）

第8～10回地域医療構想及び医療計画等に関する検討会の内容を説明後、会長諮問に対する答申の「まとめと提言」に対する意見交換を行った。

3）医療IT委員会［2月18日（水）・Web併用］について（橋本常任理事）

会長諮問に対する答申について協議が行われ「医療DXの定義と背景」「医療現場におけるDX推進の必要性」「「現場」の定義と本答申の目的」を総論、「現場の課題と医療DXの現状」「医師会による具体的な取り組み事例」を各論とし、巻末の提言では「医師会の役割と期待される機能」「今後の展望と提言」「おわりに」の三部に分けて構成することとした。

4）外国人医療対策委員会［2月26日（木）・Web併用］について（伊藤常任理事）

会長諮問に関して意見交換を行い、各委員が執筆した原稿を取りまとめた報告書は次回委員会に諮る予定。

5）地域医療対策委員会［3月4日（水）・Web併用］について（青木常任理事）

日医・坂本常任理事から3月3日開催の第12回地域医療構想及び医療計画等に関する検討会で示された新たな地域医療構想とりまとめ（案）などについて情報提供があった後、会長諮問に対する答申（案）の内容を確認した。なお、最終答申については、同月18日に石塚尋朗委員長から日医・松本会長に提出した。

6）救急災害医療対策委員会［3月5日（木）・Web併用］について（目黒常任理事）

防災業務計画およびJMAT要綱の改正の説明後、小職からメディカルウイングの運航実績について報告した。続いて、会長諮問の検討にあたって設置された地域包括ケアシステムにおける救急医療WG、日本医師会二次救命処置（ALS）研修の普及・教育資材WGの座長から、中間報告書の協議状況の報告があった。最終答申は次回委員会に諮る予定。

7）医療関係者検討委員会［3月11日（水）］について（水谷常任理事）

5月に行われた令和7年度都道府県看護行政担当者会議で提示された、看護師等養成所における遠隔授業の基本的な考え方およびサテライト施設の設置について説明があり、対面で授業を受けている学生との間に不公平が生じないよう十分な指導体制を確保すること等について要望書を提出することとした。また、会長諮問に対する答申案について内容を

確認した。なお、最終答申は、４月10日に須藤英仁委員長から日医・松本会長に手交した。

８）男女共同参画委員会［３月13日（金）］について（寺本常任理事）

第20回男女共同参画フォーラム（４月４日・沖縄県）の開催概要について確認後、会長諮問に対する答申案の説明があった。また、令和７、８年度に行った「男女共同参画についての男性医師の意識調査」から、新専門医制度や働き方改革に対する様々な意見を制度改善のための基礎資料として反映いただくため、要望書として日医・松本会長に提出することとした。

９）有床診療所委員会［３月19日（木）・Web併用］について（鈴木副会長）

日医・松岡常任理事から地域医療構想および医療計画等について情報提供があった後、会長諮問に対する答申（案）の内容を確認した。なお、最終答申は、４月14日に河野雅行委員長から日医・松本会長に提出した。

10）母子保健検討委員会［４月８日（水）・Web併用］について（寺本常任理事）

会長諮問に対する答申（案）のほか母子保健全般に係る最終審議が行われた後、産後ケアWGと乳幼児健診WGに分かれて検討を進めてきた内容を答申として取りまとめ、日医・松本会長に手交した。

11）地域包括ケア推進委員会［４月８日（水）・Web併用］について（菅田常任理事）

会長諮問に対する答申とりまとめに向けて意見交換が行われた後、日医・江澤常任理事から中央情勢報告として、令和８年度診療報酬改定率が、賃上げ、物価対応、食費・光熱水費対応分を含む＋3.09％のプラス改定となったことについて説明があり、各基準を充足の上、算定するよう注意喚起があった。

12）学校保健委員会［４月９日（木）］について（荒木常任理事）

会長諮問に対する答申における「学校健診に関する提言」および「メンタルヘルスに関する提言」の取りまとめを行い、特に重点的健診の具体的な内容等について意見交換を行った。また、兵庫県医師会より学校健診に関する理解啓発動画を作成した旨報告があった。

13）健康食品安全対策委員会［４月９日（木）・Web併用］について（滝山副議長）

会長諮問に対する報告書の原案および健康食品に関する啓発資料の検討を行った。次回委員会で、報告書の最終確認を行う予定。

４．承認事項

⑴　事務局の人事異動について（目黒常任理事）

４月１日付けの事務局人事案について承認決定。

⑵　個人情報保護管理体制・特定個人情報等保護管理体制の一部改正について（目黒常任理事）

４月の人事異動に伴い、個人情報保護管理体制ならびに特定個人情報等保護管理体制を一部改正することを承認決定。

⑶　職員給与規程の一部改正について（目黒常任理事）

北海道人事委員会が行った勧告に準じて、当会において給料表ならびに各手当を改定することと決定。

５．協議事項

第１号　第１回郡市医師会長協議会［５月30日（土）・Web併用］の開催に関する件（目黒常任理事）

午後４時から当会館においてWeb併用にて開催することと決定。

第２号　北海道医師会職員貸付金の利率及び職員貸付金規程の一部改正に関する件（目黒常任理事）

2.2％に改定することと決定。

第３号　その他

⑴　令和８年度行事予定に関する件（事務局）

６．道総医協関連事項（藤原副会長）

令和７年度第７回理事会（令和８年２月14日）報告以降に開催された会議について報告した。

閉　　会

第２回常任理事会

日　時　令和８年４月28日（火）18：00～18：35
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・菅田・髙橋・寺本・村上・末岡各常任理事、梶・阿久津・松岡各監事
（事務局：三瓶事務局長ほか13名）

協議事項

第１号　母体保護法指定医師の指定に関する件（目黒常任理事）

持ち回りの審査委員会において指定可とされた再審査申請者１名を指定医師とすることと決定。

第２号　日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（村上常任理事）

認定要件を満たした新規申請者17名、更新申請者23名を承認し、日医へ申請することと決定。

第３号　日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（末岡常任理事）

認定要件を満たした更新申請者１名を承認し、日医へ申請することと決定。

第４号　日本医師会生涯教育講座の認定に関する件

（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座12件を承認することと決定。

第５号　その他

⑴　５月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．北海道獣医師会との連携シンポジウム［４月12日（日）］について（末岡常任理事）

平成28年３月に北海道獣医師会と締結した学術協力の推進に関する協定に基づき、８回目となる連携シンポジウムをWeb併用で開催した。松家会長、北海道獣医師会・田村豊会長からの挨拶後「忘れてはならない人獣共通感染症：エキノコックス症の現状と課題」をテーマに、北海道大学大学院獣医学研究院・野中成晃教授から「北海道におけるエキノコックス症の疫学―動物間流行の現状、新たな懸念材料と今後の課題―」、旭川医科大学内科学講座消化器内科学分野・澤田康司講師から「ヒトにおけるエキノコックス症の現状と課題」と題した講演があり、意見交換を行った。参加者は167名であった。

２．自民党道連・北海道ブロック両院議員会・北海道医師会勉強会［４月15日（水）］について

（荒木常任理事）

医療政策部の事業活動の一環として、道議会議員（３月４日開催）に引き続き、国会議員に対する勉強会を開催した。小職から「医療機関の経営状況」、佐古副会長から「小児・周産期医療」および鈴木副会長から「控除対象外消費税」をテーマとして、医療機関の厳しい状況や国からのさらなる支援の必要性などを説明した。参加した議員からは「地域医療構想における病院再編への対応」「医師偏在・診療科偏在の深刻化」「医学部の地域枠制度の課題」「医療機関の経営悪化」「控除対象外消費税の問題」など幅広いテーマについて質問がなされ、現場の実情や今後の方向性をめぐって活発な意見交換を行った。国会議員は20名、道議会議員は２名、当会からは松家会長ほか５名の役員が出席した。

３．都道府県医師会新たな地域医療構想に関する担当理事連絡協議会［４月15日（水）］について

（青木常任理事）

厚生労働省より、高齢化の進展や生産年齢人口の減少が見込まれる2040年を見据えた「新たな地域医療構想」に係るガイドラインの方向性について説明があった。その後の質疑応答・意見交換では、今後対応が求められる多岐にわたる事項について参加者から質問があった。出席者は169名であった。

４．第１回勤務医部会若手医師専門委員会［４月18日（土）・Web併用］について

（橋口若手医師専門委員会委員長）

日医シンポジウム「未来ビジョン“若手医師の挑戦”」にWeb出席した後、引き続き本委員会を開催し、今年度の医学生・若手医師キャリアデザインセミナー、若手開業医と若手勤務医との懇談会の開催方法等について協議した。

５．日本医師会学校保健講習会［４月19日（日）・日医会館］について（荒木常任理事）

日医・松本会長（代理：茂松副会長）および日本学校保健会・松本会長（代理：弓倉専務理事）の挨拶後、「学校保健に関する最近の課題」をテーマに、スポーツ庁・吉田慶太スポーツ戦略官から学校における熱中症対策、日本女子体育大学体育学部スポーツ科学科・横嶋剛教授から学習指導要領に基づく性教育の考え方・進め方など、計６名の講師により講演が行われた。受講者は184名であった。

６．各部報告

⑴　特定健康診査集合契約について

（末岡常任理事）

代表保険者である全国健康保険協会北海道支部ほか932保険者と４月１日付けで契約を締結した。集合契約参加医療機関数は1,338件、そのうち代行入力希望医療機関数は428件である。なお、健診データ電子化代行業務は昨年度より㈱ディーソルが行っている。

⑵　北海道有朋高等学校通信制課程協力校受講生定期健康診断の委託契約について

（末岡常任理事）

平成23年から毎年協力している本定期健康診断の委託契約を４月14日付けで締結した。契約期間は、５月７日から７月31日までで、健診単価は昨年度と同額である。受診対象者は1,792名であり、298医療機関の協力を得ることとなった。

⑶　北海道医師会医師キャリアサポート相談窓口相談員設置要綱などの策定について

（寺本常任理事）

相談窓口コーディネーターの医師会内部での位置付けや役割等を明確にするため、北海道医師会医師キャリアサポート相談窓口相談員の設置要綱・業務要領・カスタマーハラスメント対応基本方針を策定したことについて報告した。

７．中央情勢報告

厚生労働省の人事（2026.4.1付）について

（荒木常任理事）

４月１日発令分を含めた幹部人事について、小職より情報提供した。